

令和3年度 広島市の学校における働き方改革推進フォーラム

「働き方改革推進モデル校」実践発表



広島市立落合小学校

学級数 14学級

児童数 348名

(令和3年5月1日現在)



今日に元気を!
明日に笑顔を!!

～広島市立落合小学校 紹介～

学校教育目標

未来を切り拓く、心豊かでたくましい子供の育成
「強く」「正しく」「心豊かに」



- ・子どもたちは元気で一生懸命
- ・教職員も何事にも真剣
- ・「令和4年度生活科・総合的な学習の時間中国大会」において発表予定

大会に向けて
研究中！

～課題①：超過業務時間が多い教職員の割合が高い～

令和2年度における

超過業務時間が45時間超の教職員の割合

約50%

80時間超え
月平均約2名

※4、5、8月を除く

～課題②：勤務時間内に学級事務や授業準備の時間が確保できない～



- ・日々の業務の負担が大きい。
- ・放課後に行う会議や研修などが多い。

超過業務時間の要因となっている主な業務

~~授業準備~~

超過業務時間の要因となっている主な業務

~~学級事務~~

～課題③：心身ともにゆとりある働き方に向けた業務分担等の見直しが必要～



- ・児童の成長につながりにくいと感じる業務の必要性に疑問がある。
- ・学校教育で本当に必要なことかどうか、よく話し合うことが大切である。

既存の
業務

指導
体制

見直し

心身ともにゆとりのある働き方

～推進体制の構築～

管理職

校務分掌

授業
づくり

働き方改革
推進委員会

環境
整備

「令和4年度 生活科・総合的な学習の時間 中国大会」に向けた

三部会

～落合小学校の主な取組～

1

超過業務時間が多い

→定時退校日の実施

2

勤務時間内に学級事務や授業準備の時間が確保できない

→研修時間等の確保

3

心身ともにゆとりある働き方に向けた業務分担等の見直しが必要

→スクールサポートスタッフの活用

1

定時退校日の実施

～概要～

毎週水曜日 定時退校日

全教職員18時までに退校

管理職も早く帰ることができる

1

定時退校日の実施

～定時退校ができるための環境整備～

- ・水曜日の放課後には、行事や会議を入れないようにした。
- ・ホワイトボードに「定時退校プレート」を掲示した。



視覚的
意識UP！

1

定時退校日の実施

～アンケート調査から得られた取組結果～

質問概要	肯定的な回答の割合
定時退校日に定時退校を実施できましたか。	95.6%
定時退校の実施に向けて業務の効率化等の工夫を行いましたか。	60.8%

(個人的に行った工夫の一例)

- ・やることリストを作成した。
- ・仕事に優先順位をつけた。

2

研修時間等の確保

～概要～



ウェブ研修

~~勤務時間外~~



勤務時間中に
受講すべきもの

2

研修時間等の確保

～概要～

時間割を調整し、
研修の時間を確保

ウェブ研修の受講時間の見直し

放課後の時間を
教材研究や学級事務に充てる

2

研修時間等の確保

～確保した空き時間を活用できそうな業務の例～



2

研修時間等の確保

～アンケート調査による取組結果～

質問概要	肯定的な回答の割合
放課後等に行っていた研修の受講等の負担が軽減しましたか。 ※対象:取組活用者	100%
今後も同様の取組を続けたいと思いますか。	87.0%

3

スクールサポートスタッフの活用

～昨年度までの状況～

どのような仕事が
依頼できるの



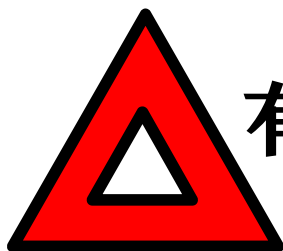
どのくらい依頼
しているの

3

スクールサポートスタッフの活用

～昨年度までの状況～

- ・仕事を依頼したくても躊躇している場合があった



有効活用できなかった



スクールサポートスタッフ

3

スクールサポートスタッフの活用

～改善策～

依頼内容の
集約・調整

他の教職員が
依頼した内容
を周知・共有

担当者によるハンドリング

仕事の依頼
増加！

具体的な仕事内容

- ・宿題の印刷
- ・学校行事の手伝いや準備
- ・プリント類の印刷と仕分け
- ・授業中の児童への支援補助
- ・図書の廃棄本の整理
- ・消耗品の在庫整理
- ・アンケートの集計 など

3

スクールサポートスタッフの活用

～アンケート調査による取組結果～

質問概要	肯定的な回答の割合
依頼の調整等を行うことで、スクールサポートスタッフを活用しやすくなりましたか。	91.3%
昨年度依頼できなかった業務内容の依頼ができましたか。	69.6%

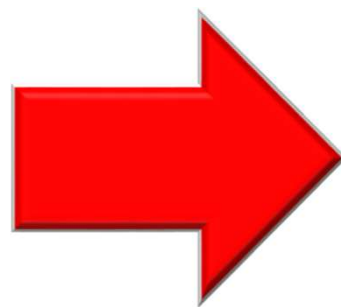
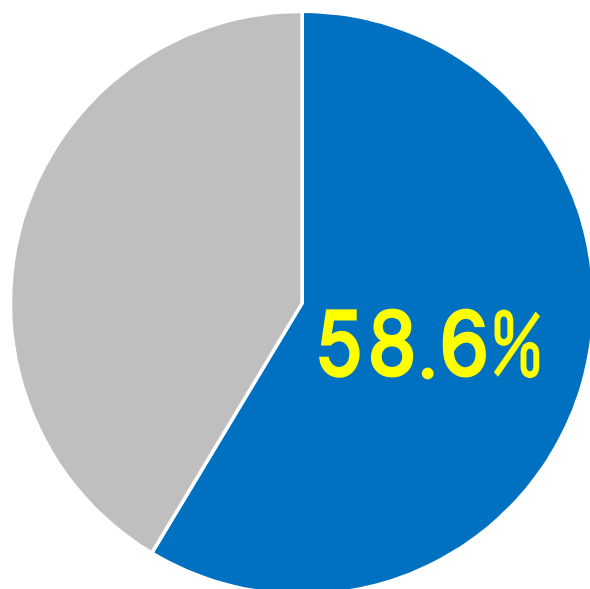
～課題の改善状況～

課題		質問概要	肯定的な回答の割合
①	超過業務時間が 多い	超過業務時間の縮減が 図られていますか。	78.3%
②	学級事務や授業準備の 時間が確保できない	授業準備や学級事務を 行う時間の確保につなが っていますか。	60.0%
③	心身ともにゆとり ある働き方に向けた 業務分担等の見直しが必要	仕事と生活の調和がと れていますか。	60.9%

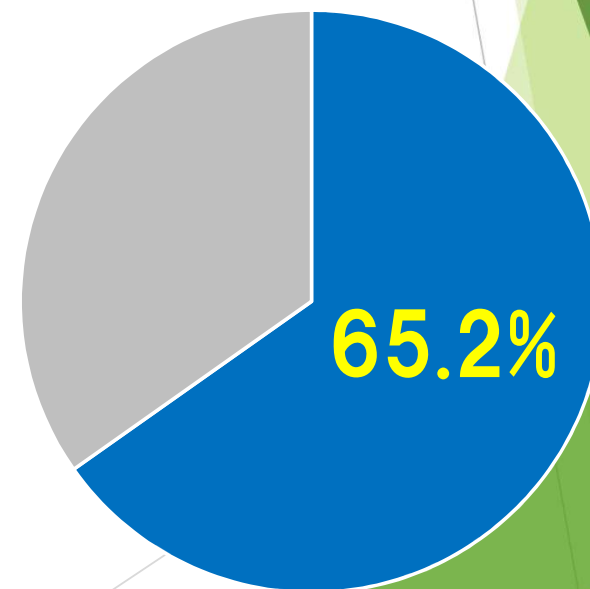
～その他の取組効果～

【働き方改革に取り組もうとする意識が高い】

4月



12月



～教職員の声～



教職員間で協力し
あっていると感じる。

行事があるたびに、
今までの慣習にとら
われず、どうしたら効
率良くできるか考え
るようになった。

みんなで休暇をとる
意識が高まった。



まだまだ業務量が多く、
大きく変わったという
実感がもてない。

意識や取組方法な
どについての共通理
解が不十分だと感じ
る。

～来年度を見据えた今後の取組の方向性～



- ◆ 既存業務・役割分担の見直しを一層進める
- ◆ 進捗状況などの共有を積極的に行う

働き方改革に取り組む意識を向上させ、
各取組の実効性を高める

今日に元気を！ 明日に笑顔を！！

ご視聴 ありがとうございます

広島市立落合小学校